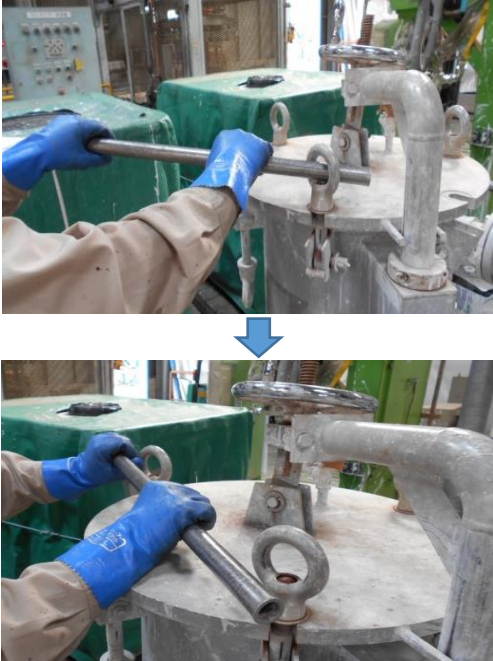


整理No. 2019-3		労働災害状況調査表				
発生会社 事業所						
災害発生場所		B-2B工場				
災害発生日時		2018年 9月 17日(月) 9時20分 天候(晴れ時々雨) 温度(25.0℃) 湿度(81%)				
災害区分		不 <del>休</del> 災害		休業災害(休業: 日) <u>重大ヒヤリ</u>		
被災者	部門	第1製造課		雇用形態	正社員 <u>派遣</u> 契約、その他( )	
	年齢	24歳	性別:	<u>男</u> 女	勤続年数 2年1ヶ月   経験年数 2年1ヶ月	
	傷病名	病名 (左手母指末節骨骨折、爪下血腫)				
	傷病部位	左手母指				
災害発生状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充填準備でストレナーの蓋を閉めるため、デンデンボルトにパイプを差し込んで締付け作業を行っていた。</li> <li>・締付け中、パイプがデンデンボルトから滑り抜けて、押していた勢いで左手親指付近を隣のデンデンボルトに強打した。(ゴム手袋装着)</li> <li>・かなり痛みがあるようだったので、病院に行くと一週間程度の打撲と診断されたが、後にレントゲン撮影から末節骨骨折であった。</li> </ul>			状況概略(写真orイラスト) 		
	災害の型 <sup>※1)</sup> 3激突(当たる・ぶつかる)			作業の形態: <u>定常</u> 非定常、その他( )		
	起因物: デンデンボルト、パイプ			特記事項		
原因分類	1. 人的要因(man) : 滑り抜ける事を想定していなかった。引く方向に差込めず押して締付けた。差込みが浅かった。					
	2. 物に関する要因(machine) : 決められた治具がなく、凹凸のない滑りやすいパイプを使用していた。					
	3. 環境要因(media) : 蓋を吊り下げる支柱の関係で、手前に引く締付けができない位置関係であった。					
	4. 管理的要因(management) : ストレナーの締付け作業に関する作業手順書がなかった。					
対策	1. 締付け作業は滑り抜けることを想定することや、引く方向に力がかかるよう注意喚起する。					
	2. 滑らない表面加工、形状をした専用治具を作成して締付け作業をする。					
備考	3. 支柱アームの位置は変更できないため、作業者が移動して引く方向で締付け作業を行う。					
	4. 専用の締付け治具完成後、使用法を記した作業手順書を作成し、職場会、朝礼等で周知、教育する。					
対策分類 <sup>※2)</sup> : 1-6、2-4、2-6						
類似箇所の摘出:						

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)